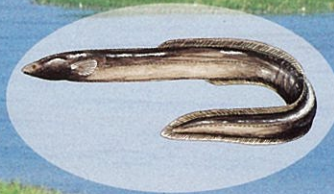


生きもの発見

紀ノ川の生きものと遊ぶ



和歌山県立 自然博物館

生きもの発見

紀ノ川の生きものと遊ぶ

ルール

- 原則として生きものたちが住む場所、写真を写した時期しか教えていません。
- 目標の生きものを見つけたら、図鑑などでその種類であることを確認してください。
- 発見した生きもの名前、観察した日時と場所、観察したことをメモしてください。
- 生きものは取らずに観察するだけにしてください。
- 一人で野山や水辺に出かけるのは、非常に危険です。

成績

- 少なくとも3種類以上発見してください。
- 7種類以上発見できたら、たいしたものです。
- 10種類以上発見できたら、観察したことをまとめてみましょう。

もくじ

発見する生きもの	ページ
ルール、成績、もくじ	1
紀ノ川の魚	
汽水域にいる魚	1~2
瀬にいる魚	3~4
洲にいる魚	5
湾入部やよどみにいる魚	6
紀ノ川河原の草・木・花	7~8
紀ノ川の昆虫	9~10
紀ノ川の鳥	
～紀ノ川河口～	11
～那賀町麻生津橋～	12
～打田町若者広場前～	13
～船戸山～	14

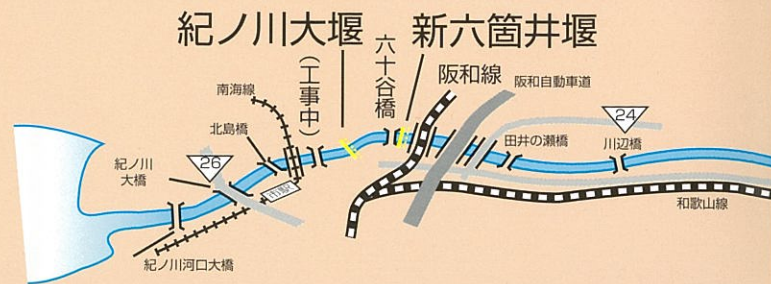
紀ノ川

○ 紀ノ川は、幹線流路延長136kmの全国27位の河川です。

○ 奈良県では、吉野川、和歌山県に入っている紀ノ川と呼ばれています。

○ 紀ノ川流域には、和歌山県の人口の6割以上の方が生活しています。

○ 紀ノ川の河原やその周辺には、様々な動物や植物が生活しています。



紀ノ川の魚

汽水域にいる魚

- 新六箇井堰から下流では、ま水と海水が混じっていて、このような区域を汽水域といいます。
- 主に海にすむ魚の幼魚や、汽水域に好んですむ汽水魚などがいます。
- めずらしいシオマネキやハクセンシオマネキなどのカニもすんでいます。
- 新六箇井堰から下流約2km以内には大きなアシ原があり、海の水がひくと、大きな干潟も現れます。このような、自然の干潟やアシ原は、河川改修のためどんどん少なくなっています。

めずらしいカニ



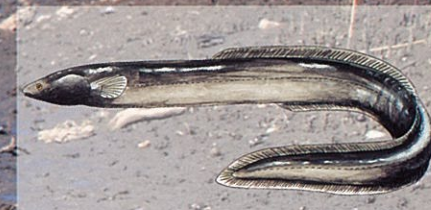
シオマネキ



ハクセンシオマネキ



トビハゼ



ウナギ



ヒイラキ



マハゼ



クロダイ



スズキ



ボラ